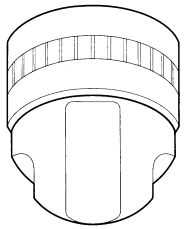
Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

取扱設置説明書

TK-S555

コンビネーションカメラ



— お買い上げありがとうございます —

ご使用前にこの「取扱設置説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に、保証書といっしょに保管してください。

私たちは環境・資源をたいせつにしています。
エコマーク認定の再生紙（古紙50%含有）を使用しています。

このたびはコンビネーションカメラ TK-S555をお買い上げいただき ありがとうございます。

目次

特長 2
正しくお使いいただくためのご注意 2
保証とアフターサービスについて 2
各部の名称と働き 3
設置のしかた 4
接続方法 10
故障？と思う前に 11
定格 11

■ 大切な録画の場合は必ず事前にためし撮りをし、正常に録画されることをご確認ください。
■ ビデオカメラやVTR、テープの使用中、万一これらの不都合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。
■ 設置説明に従わない不完全な取り付けにより、カメラが落下した場合、当社は責任を負いかねますので、設置には十分な注意をお願いします。

特長

■ ズームレンズ、回転台、CCDカメラを一体化しファショナブルなドーム型にデザインしたコンビネーションカメラです。

■ プリセット機能により最大64ヶ所ごと（ホームポジション1ヶ所を含む）に回転台、ズーム、フォーカス位置およびカメラ機能を記憶させ呼び出すことができます。

■ 回転台部は水平回転80°/秒、垂直回転45°/秒（プリセット時）と高速です。

■ 逆光補正付で逆光状態の映像の改善ができます。

■ 同軸一本で映像信号、同期信号、カメラ電源、制御信号を伝送する同軸多重方式を採用、工事、システム性に優れています。

■ 電子シャッター1/100秒搭載で、商用電源周波数50Hz地域での蛍光灯照明によるフリッカー現象（映像のチラツキ）を軽減出来ます。

■ TTL自動追尾ホワイトバランスの採用で様々な光源の条件下で使用できます。

■ デジタル信号処理IC採用により、色再現等安定した映像が得られます。

■ 10倍ズームレンズ内蔵で設置、システム性に優れています。

正しくお使いいただくためのご注意

● 本機は屋内用カメラです。屋外での使用はできません。
● 本機は単体で使用することはできません。システムコントロールユニット（SW-2100）、リモートコントロールユニット（RM-P2100）、電源ユニット（TK-A241）、カメラコントロールユニット（TK-U1402, TK-U1003, TK-U1004, TK-U1005, TK-W410, TK-D500B, TK-D777, TK-D800, TK-F100）と組み合わせて使用してください。（すべて別売）
● 次のような場所への設置およびご使用はできません。
　・雨や水のかかる場所
　・使用周囲温度（−10℃〜+50℃）を超える場所

暖房装置の上や、温風の吹き出し口、スポットライトの付近は、思わぬ高温となる場合があります。このような場所への設置は避けて、必ず使用周囲温度内でご使用ください。

　・放射線やX線及び強力な電波や磁気の発生する場所
　・振動する場所
● 本機はAGC回路内蔵のため、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。
● 本機をホワイトバランス AUTO で使用した時、自動追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
● 高輝度の被写体（ランプなど）を撮影した時、画面上で高輝度の被写体の上下方向に白い尾引き現象が現われます。これは固体撮像素子特有の現象（スミア現象）で故障ではありません。
● 本機は電子シャッターを出荷時1/60秒に設定しています。商用電源周波数50Hz地域で蛍光照明下では1/100秒に切り換えてご使用ください。（1/100秒の時、感度が少し下がります。）
● 本機のドームカバー透明部は薄いフィルムで出来ています。設置、取り外し、及び清掃の際に無理な力が加わらない様に充分ご注意願います。破損の恐れがあります。

※安全上のご注意

取付面の材質がもろい場合、カメラが落下する恐れがあります。取り付けは、カメラの重量に充分耐えられる場所に確実に固定してください。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について
この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

● **保証期間について**
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容によりお買上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

● **保証期間経過後の修理について**
保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

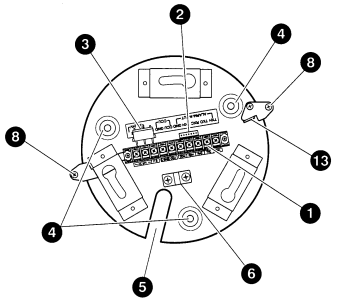
● **メンテナンス契約のご案内**
本機は、機械的可動部分を持つため定期的な保守、点検が必要です。安心してご使用いただくためメンテナンス契約されることをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店又は最寄りのビクターサービスにご相談ください。

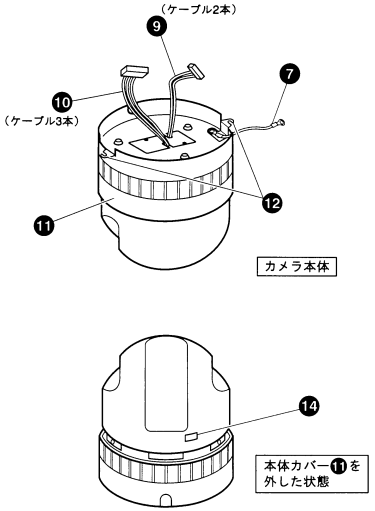
● **アフターサービスについてのお問い合わせ先**
ご転居、ご贈答、その他アフタサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店又は別紙ビクターサービス窓口ご案内をご覧のうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは
調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買上げ販売店又はビクターサービスにご相談ください。

・機種目：TK-S555
・故障の状態をできるだけ詳しく：
・ご購入年月日：
・ご住所、ご氏名、電話番号

各部の名称と働き





❶ **端子台**
同軸ケーブル、AC24V電源ケーブルを接続します。

❷ **カメラ信号コネクター**
カメラ本体からのカメラ信号ケーブル❾を接続します。

❸ **電源コネクター**
カメラ本体からの電源ケーブル❿を接続します。

❹ **固定用穴**
この穴を利用して天井及び、天井埋込ブラケット（別売）に取り付けます。

❺ **配線用スリット**
端子台❶に接続するケーブルはこのスリットを通します。

❻ **同軸ケーブル用クランバー**
この金具で同軸ケーブルを押えます。

❼ **落下防止ワイヤー**
安全の為、このワイヤーを天井取付金具の落下防止ワイヤー固定フック⓭に引っ掛けます。

❽ **ロックスクリュー**
カメラ本体を天井取付金具に固定するスクリューです。

❾ **カメラ信号ケーブル**
天井取付金具のカメラ信号コネクター❷に接続します。

❿ **電源ケーブル**
天井取付金具の電源コネクター❸に接続します。

⓫ **本体カバー**
ケーブル長切換スイッチ⓮を使用する場合、このカバーを外します。

⓬ **カメラ本体固定金具**
ロックスクリュー❽をこの金具に締め付けるとカメラ本体と天井取付金具が固定されます。

⓭ **落下防止ワイヤー固定フック**
このフックに落下防止ワイヤー❼を引っ掛けます。

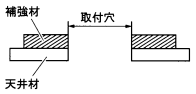
⓮ **ケーブル長切換スイッチ**
本機とSW-2100との同軸ケーブル長により、切り換えます。

設置のしかた

本機は ***■直接天井に取り付ける場合、■天井埋込みブラケットWB-S555（別売）を使用して取り付ける場合*** の、2種類の設置が可能です。それぞれの設置説明に従って取り付けてください。

ご注意

●本機は高速回転を行う為、振動等の条件を考えて、十分な強度を持った場所に取り付けてください。化粧合板、石膏ボード、プラスターボード等、天井材質に強度が足りない場合は補強材（ベニヤ合板等）を当てて補強してください。補強が不十分な場合は、振動の為モニター上で画ブレが発生したり、最悪の場合落下の危険があります。



●以下の様な場所への設置も避けてください。
・暖房装置の上、温風の吹き出し口、スポットライトの付近 ➡ 使用周囲温度を超える高温下では、ご使用になれません。
・放射線、X線、強力な電波、磁気の発生場所、ネオンサインの近く等 ➡ 画面にノイズが発生したり、故障の原因となります。
●本機のドームカバー透明部は薄いフィルムで出来ています。設置、及び取り外しの際に無理な力が加わらない様に充分ご注意願います。破損の恐れがあります。

■直接天井に取り付ける場合

1. 接続ケーブルが天井裏を通る場合、天井に配線用穴（ø100）をあけます。

2. 天井取付金具を天井に固定します。
接続ケーブルが天井裏を通る場合接続ケーブルは、天井取付金具のスリットから引き出しておきます。

- カメラを向けたい方向の中心に "➡FRONT" のマークがくるように取り付けてください。
- 固定用ネジ、ボルトはM5を使用、木ネジはø5.1をお使いください。

3. AC24V電源ケーブルおよび同軸ケーブルを天井取付金具の端子台に固定します。

ご注意

結線する場合、ケーブルが他の端子や、金属部（底板、ケーブルクランバー等）に接触しないように十分注意してください。

3.1 AC24V電源ケーブルを端子台の "AC24V" に接続します。（接続ミスや、ケーブルの外れを防ぐため、端子台との接続には、ラグ板の使用をおすすめします。）

推奨電源　：TK-A241（別売）
使用ケーブル例：IV線（ビニル絶縁電線）等
（ケーブルは、配線場所、配線長を考慮し、選定してください。）

3.2 システムコントロールユニットSW-2100と接続する同軸ケーブルを固定します。

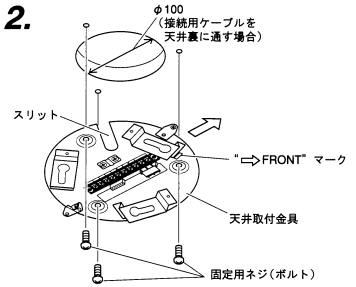
① 同軸ケーブルを右図に従い先端処理した後、"C. GND"、"CCU" 端子に接続します。

使用可能同軸ケーブル：3C-2V, 5C-2V
（7C-2Vはご使用になれません。）

同軸ケーブルのシールド（網線）	⟶ C. GND
同軸ケーブルの芯線	⟶ CCU

② 同軸ケーブルをケーブルクランバーにて固定します。ケーブルクランバーが同軸ケーブルのシールドと接触しないようにしてください。

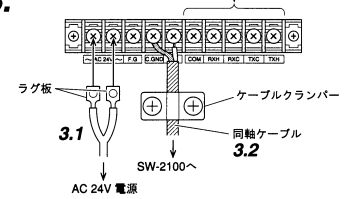
1. 2.



ご注意

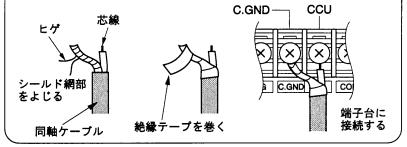
この端子は、ご使用にはなれません。

3.



同軸ケーブル先端処理のしかた

シールド（網線）のヒゲが金属部に接触しないよう、よじった後に絶縁チューブや絶縁テープを巻いてカバーをする等の処置を行ってください。



4. カメラ本体の確認をします。

4.1 **CABLE 長スイッチのモードを切り換える場合**

本機とカメラコントロールユニット間の同軸ケーブル長（＝本機とSW-2100間の距離＋SW-2100とカメラコントロールユニット間の距離）が250mを超える場合、本機のCABLE 長スイッチのモードを "LONG" 側に切り換えます。

ご注意

- CABLE長スイッチのモードを間違えますと、画面が乱れることがあります。

4.2 **カメラのキャラクター表示(MANUAL表示)のモードを切り換える場合**

プリセットされたポジション（ホームポジション+63ポジション）以外にリモコンでマニュアル動作を行なう際、画面上に "MANUAL" というキャラクター表示を出すか出さないかを決定します。

スイッチ変更方法

① ドームカバーを回してカメラ本体のスリットと、カバー透明部を合わせます。
② 本体カバーをRELEASE方向（時計回り）に回して引き抜きます。
③ スイッチのモードを切り換えます。
④ 本体カバーのシール目印をカメラ本体の矢印に合わせて挿入し、LOCK方向（反時計回り）に回します。

- カメラ本体の矢印は3ヵ所ありますが、3ヵ所どこに合わせてもかまいません。
- "カチッ" と音がするまで確実に回してください。

4.3 **接続ケーブルが天井裏を通らない場合（カメラ本体横から接続ケーブルを出したい時）**

カメラ本体のスリットを割り取り、接続ケーブルが通る穴を開けます。

5. 天井取付金具にカメラ本体を取り付けます。

① 天井取付金具のロックスクリュー2本を緩めておきます。
② カメラ本体から出ている落下防止ワイヤーを天井取付金具に取り付けます。
③ カメラ本体から出ているケーブル2種類を天井取付金具のコネクターにそれぞれ接続します。
④ カメラ本体のスリットを天井取付金具の目印に合わせて、挿入します。

ご注意

- 端子台や金属部にカメラ本体からのケーブルが乗り上げていないことを確認してください。
ケーブルをはさむと、故障の原因となります。

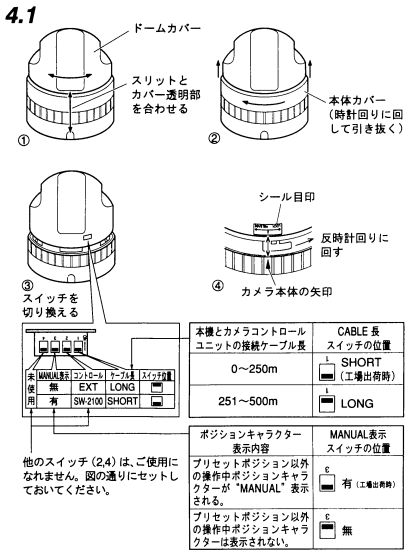
- カメラ本体横から接続ケーブルを出す場合、カメラ本体のスリットを接続ケーブルが通るようにします。



⑤ カメラ本体を反時計回りに止まるまで回します。このときカメラ本体固定金具がロックスクリューの位置までくるようにします。
⑥ ロックスクリューを締め付けて、取付完了です。

ご注意

- ロックスクリューの締め付けが不確実だとカメラ本体ががたついたり、落下する恐れがありますので確実にロックスクリューを締め付けてください。



天井からの取り外しは、取り付け時の逆の手順で作業してください。

■天井埋込ブラケットWB-S555（別売）を使用する場合

ご注意

天井埋込ブラケットを使用する場合、天井材の厚さは最大22mmです。
それ以上は取り付けられませんので、ご注意ください。

1. 天井に取付穴（ø200）をあけます。

2. 天井取付金具を天井埋込ブラケットに固定します。
天井取付金具についている "→FRONT" マークと天井埋込ブラケットの突起部が近くなるように天井埋込ブラケットに付属のネジ3本で固定します。（ネジは天井埋込ブラケットに固定されていますので、一旦外してから作業してください。）

3. AC24V電源ケーブルおよび同軸ケーブルを天井取付金具の端子台に固定します。

ご注意

- 接続ケーブルは、天井取付穴より引き出し、天井取付金具のスリットを通して端子台に接続します。危険を避けるため、十分な長さの接続ケーブルを引き出して足元の安定した場所で作業をすすめてください。
- 結線する場合、ケーブルが他の端子や、金属部（底板、ケーブルクランパー等）に接触しないように十分注意してください。

3.1 AC24V電源ケーブルを端子台の "AC24V" に接続します。（接続ミスや、ケーブルの外れを防ぐため、端子台との接続には、ラグ板の使用をおすすめします。

推奨電源　　：TK-A241（別売）
使用ケーブル例：IV線（ビニル絶縁電線）等
（ケーブルは、配線場所、配線長を考慮し、選定してください。）

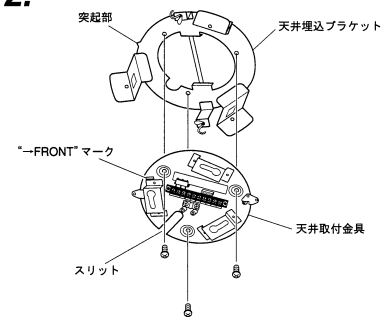
3.2 システムコントロールユニットSW-2100と接続する同軸ケーブルを固定します。

① 同軸ケーブルを右図に従い先端処理した後、"C. GND"、"CCU" 端子に接続します。

使用可能同軸ケーブル：3C-2V, 5C-2V
（7C-2Vはご使用になれません。）

同軸ケーブルのシールド（網線）	→ C. GND
同軸ケーブルの芯線	→ CCU

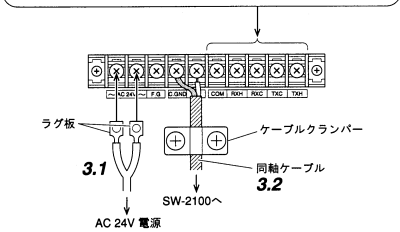
② 同軸ケーブルをケーブルクランパーにて固定します。ケーブルクランパーが同軸ケーブルのシールドと接触しないようにしてください。



3.

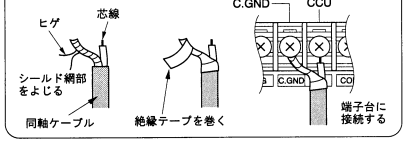
ご注意

この端子は、ご使用にはなれません。



同軸ケーブル先端処理のしかた

シールド（網線）のヒゲが金属部に接触しないよう、よじった後に絶縁チューブや絶縁テープを巻いてカバーをする等の処理を行ってください。



4. カメラ本体の確認をします。

4.1 CABLE 長スイッチのモードを切り換える場合

本機とカメラコントロールユニット間の同軸ケーブル長（＝本機とSW-2100間の距離＋SW-2100とカメラコントロールユニット間の距離）が250mを超える場合、本機のCABLE 長スイッチのモードを "LONG" 側に切り換えます。

ご注意

- CABLE長スイッチのモードを間違えますと、画面が乱れることがあります。

4.2 カメラのキャラクター表示(MANUAL表示)のモードを切り換える場合

プリセットされたポジション（ホームポジション+63ポジション）以外にリモコンでマニュアル動作を行なう際、画面上に "MANUAL" というキャラクター表示を出すか出さないかを決定します。

スイッチ変更方法

① ドームカバーを回してカメラ本体のスリットと、カバー透明部を合わせます。
② 本体カバーをRELEASE方向（時計回り）に回して引き抜きます。
③ スイッチのモードを切り換えます。
④ 本体カバーのシール目印をカメラ本体の矢印に合わせて挿入し、LOCK方向（反時計回り）に回します。

- カメラ本体の矢印は3ヵ所ありますが、3ヵ所どこに合わせてもかまいません。
- "カチッ" と音がするまで確実に回してください。

5. 天井埋込ブラケットに固定されている天井取付金具にカメラ本体を取り付けます。

① 天井取付金具のロックスクリュー2本を緩めておきます。
② カメラ本体から出ている落下防止ワイヤーを天井取付金具に取り付けます。
③ カメラ本体から出ているケーブル2種類を天井取付金具のコネクターにそれぞれ接続します。
④ カメラ本体のスリットを天井取付金具の目印に合わせて、挿入します。

ご注意

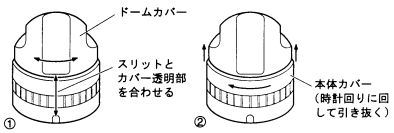
- 端子台や金属部にカメラ本体からのケーブルが乗り上げていないことを確認してください。
ケーブルをはさむと故障の原因となります。

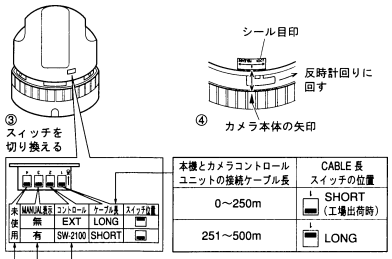
⑤ カメラ本体を反時計回りに止まるまで回します。このときカメラ本体固定金具がロックスクリューの位置までくるようにします。
⑥ ロックスクリューを締め付けて、取付完了です。

ご注意

- ロックスクリューの締め付けが不確実だとカメラ本体ががたついたり、落下する恐れがありますので確実にロックスクリューを締め付けてください。

4.

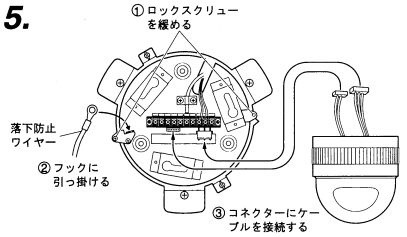


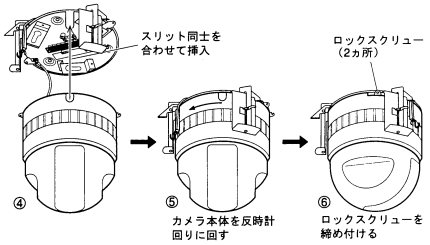


本機とカメラコントロールユニットの接続ケーブル長	CABLE 長スイッチの位置
0～250m	SHORT（工場出荷時）
251～500m	LONG

ポジションキャラクター表示内容	MANUAL表示スイッチの位置
プリセットポジション以外の操作中ポジションキャラクターが "MANUAL" 表示される。	有（工場出荷時）
プリセットポジション以外の操作中ポジションキャラクターは表示されない。	無

5.





6. カメラ本体と共に、天井埋込ブラケットを天井に固定します。

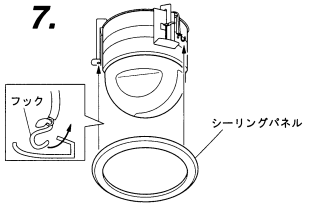
6.1 天井取付穴に天井埋込ブラケットの固定金具が引っ掛からないように天井埋込ブラケットの固定スクリュー3ヵ所をいっぱいに緩めておきます。

6.2 天井取付穴にカメラ本体を挿入します。

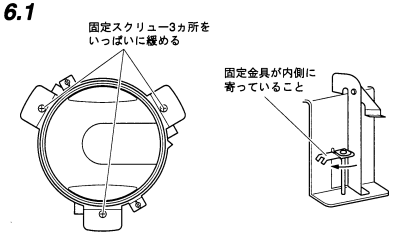
6.3 カメラ本体を天井に当たるまで持ち上げ、天井埋込ブラケットの固定スクリュー3ヵ所を締め付けます。

- カメラを向けたい方向の中心に天井埋込ブラケットの突起部がくるようにしてください。
- 天井埋込ブラケットの固定金具を天井に確実にはさみ込ませてください。
ガタがあるようでしたら、固定スクリューを一度いっぱいに緩めて、再度締め付け直してください。

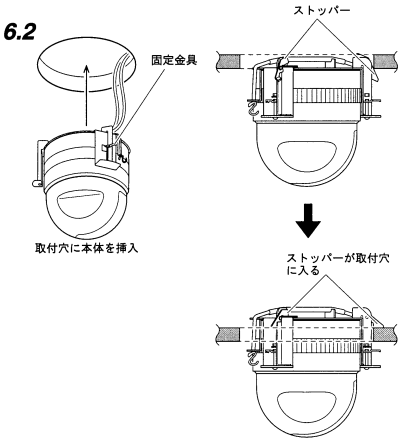
7. シーリングパネル（天井埋込ブラケットに付属）を取り付けます。（2ヵ所のフックでシーリングパネルを引っ掛けます。）



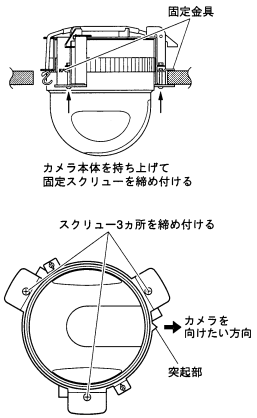
6.1



6.2



6.3



天井からの外し方

1. シーリングパネルを取り外します。（シーリングパネルを引っ張り、2ヵ所のフックを外します。）

2. カメラ本体を下から支え、天井埋込ブラケットの固定スクリュー3ヵ所を回転が止まるまで緩めます。（天井ブラケットの固定金具が内側に寄っていることを確認してください。）その後ストッパーで止まるまで、カメラ本体を静かに下げます。

3. カメラ本体が落下しないように下から支え、天井埋込ブラケットのストッパー解除レバー3ヵ所の内1ヵ所をドライバー等で押し上げます。

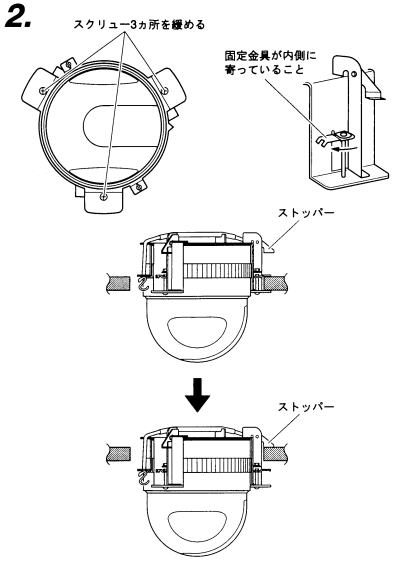
4. カメラ本体が傾きますので、斜め下に動かして取付穴より抜きとります。

ご注意

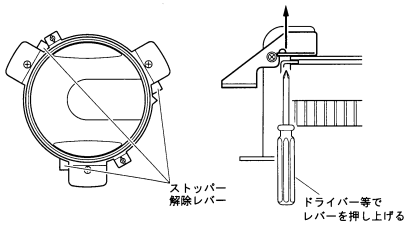
- ストッパー解除レバーを押し上げると、カメラ本体が急に落下しますので必ず、カメラ本体を下から支えて作業してください。

5. 取付時の逆の手順でカメラ本体を取り外します。

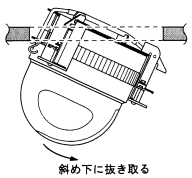
2.



3.



4.

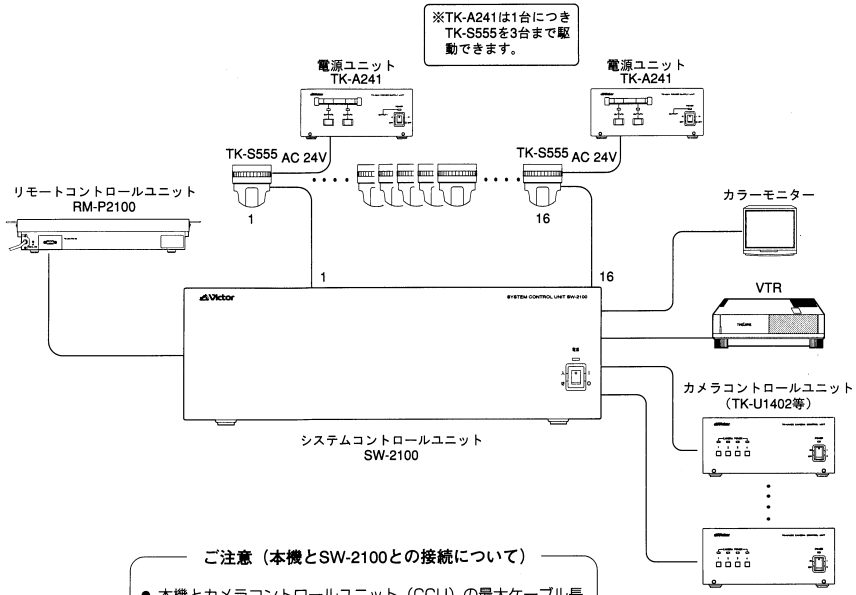


接続方法

ご注意

各機器の接続は、すべての接続機器の電源を切ってから行ってください。誤動作、故障の原因となります。

■ 接続例



ご注意（本機とSW-2100との接続について）

- 本機とカメラコントロールユニット（CCU）の最大ケーブル長は、使用する同軸ケーブル及びカメラコントロールユニットにより異なります。
  カメラコントロールユニットの取扱説明書でご確認ください。

（参考）

ケーブルの種類	ケーブル最大延長距離（本機とSW-2100との延長距離＋SW-2100とCCUとの延長距離）	
	ケーブル補償なしのCCU	ケーブル補償ありのCCU
3C-2V	200m	200m
5C-2V	350m	500m

- 本機とカメラコントロールユニット、及びSW-2100との間の接続ケーブルには電源、映像信号、同期信号等が通っていますので、ケーブル補償器、映像分配器等のいかなるものも、ケーブルの途中に挿入して使用することはできません。

本機を含むシステム機器の接続はSW-2100の取扱設置説明書を参照してください。

故障？と思う前に

症　　状	原因（インフォメーション）	処　　置
映像が出ない	●AC24V電源がOFFになっていませんか？ （AC24V電源は、回転台動力、レンズのズーム、フォーカスおよびアイリスに使用されており、AC24V電源OFFのままだとアイリスが閉じたままとなります。）	●AC24V電源をONにする。
	●AC24V電源ケーブルが外れていませんか？	●ケーブルを正しく接続する。
電源が入らない	●天井取付金具の端子台、コネクターへ各ケーブルが正しく接続されていますか？ （・端子台のネジが緩んでいる。 ・ケーブル間がショートしている。etc.）	●ケーブルを正しく接続する。 （端子台のネジ締め付けおよびケーブル間がショートしていないかを確認する。）
	●電源（AC24V）のON/OFFを、くり返し行っていませんでしたか？ （電源のON→OFF→ONを5秒以内に行うと保護回路が働く場合があります。）	●AC24V電源は一度OFFにしたら5秒以上たってから再度ONにする。
プリセットの位置がずれる	●電源が入った状態で清掃等で回転台を手で回しませんでしたか？ （本機は電源投入時のイニシャル動作を基準に、回転台の位置制御を行っています。イニシャル動作後、カメラを直接手で触れて位置をずらすと、プリセットポジションもずれてしまいます。）	●該当するカメラの電源(CCUまたはAC24V）及び**SW-2100**の電源を再投入する。

定格

●カメラ部

撮像素子	：	インターライン転送方式CCD
有効画素数	：	38万画素（768H×494V）
イメージサイズ	：	1/3インチ
カラー化方式	：	単板色差順次方式
同期方式	：	外部同期（専用CCUより特殊同期信号）
走査周波数	：	水平：15.734KHz、垂直：59.94Hz
映像S/N比	：	46dB（標準）
最低被写体照度	：	7lx（F1.8 AGC 20dB, WIDE端）
ホワイトバランス	：	TTL自動追尾／手動
電子シャッター	：	1/60秒（標準）
		1/100秒（50Hzフリッカーレス）
キャラクター表示	：	RM-P2100の設定により可
逆光補正	：	可、測光エリアは4ヶ所を選択可
カラーレベル調整	：	可
輪郭補正	：	水平、垂直

●レンズ部

ズーム比	：	10倍
焦点距離	：	f=5.8～58mm
最大口径比	：	F1.8～F22
アイリス	：	オートクローズ付ガルバノEE

●回転台部

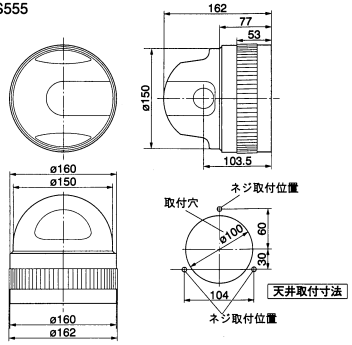
水平回転範囲	：	±175°
水平回転動作速度	：	80°/秒、12°/秒、4°/秒、2.5°/秒
垂直回転範囲	：	0～90°（水平～真下）
垂直回転動作速度	：	45°/秒、6°/秒、2°/秒、1°/秒

●総合

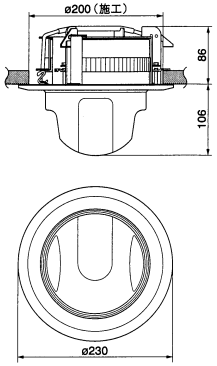
電源	：	カメラ用　DC15V～21V 200mA
		（専用CCUより供給）
		回転台、レンズ用　AC24V 10.5W
周囲温度	：	−10℃～50℃（動作）
		0℃～＋40℃（推奨）
質量	：	1.8kg（天井取付金具を含む）
添付物、付属品	：	取扱設置説明書×1
		保証書×1
		ビクターサービス窓口案内×1
		天井取付金具×1

●外形寸法（単位：mm）

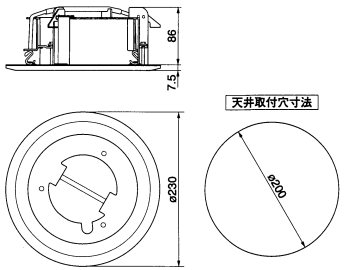
・TK-S555



・TK-S555とWB-S555組み合わせ寸法



・WB-S555（別売）



Victor　JVC
日本ビクター株式会社

お客様ご相談センター
〒113　東京都文京区本郷3−14−7　ビクター本郷ビル　電話（03）5684−9311
〒543　大阪市天王寺区小橋町10−16　大阪ビクタービル　電話（06）765−4161
プロビデオ事業部
〒192 東京都八王子市石川町2969−2　電話（0426）60−7244（ダイヤルイン）

SC96747-001